

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや



11月12日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時～

★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

11月10日(木) 午前11時～



《ボランティアおはなし会スペシャル》 図書館まつりにて

★図書館おはなし会&工作

(1階・おはなしのへや)

11月19日(土) たんぽぽおはなし会、午前11時～

(日時) 11月26日(土) 午後3時～

11月20日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時～

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) クリスマスのおはなしを読んだ後、クリスマス飾りを作る工作をします。



えほんのよみかせ、かみしばい など☆ぜひ きてください!!



※おはなし会の事前申込みは不要です。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

11月 12月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

※12/29(木)～1/4(木)まで年末年始のため休館です。

◆図書館まつり◆

11月19日(土)～21日(月)に開催します。

※詳しくは、チラシ・ポスターをご覧ください。

クリスマスツリーを飾ろう

日時: 11月26日(土) 午後2時～

場所: 1階・おはなしのへや

内容: 小俣図書館の大きなクリスマスツリーを、みんなで飾り付けしましょう。

対象: 子どもから大人までどなたでも参加できます。

読書週間記念企画

みんなで絵本を作ろう!!

絵本の挿し絵募集

としょかんようせい いちごちゃん とペリーくん シリーズ第4弾!!

テーマ: 「いちごちゃん とペリーくんのお誕生会」
2人にあげるプレゼントの絵を描いて小俣図書館まで持ってきて下さい。

期間: 11月2日(水)～12月28日(水)
小俣図書館カウンターで画用紙を配布します。

図書館だより 11月号

図書館まつり

期間: 11/12(土)～11/21(月)

11/19土

おはなしフーさんの

むかしおはなしスペシャル

《とき》午後2時30分～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》ストーリーテリング、紙しばい、工作など

《定員》50名

《申込》11月5日(土)から、直接カウンター

電話・ファックスで伊勢図書館へ。

11/20日

三重大学・人形劇団つくし

人形劇公演

《とき》午後2時～

《場所》2階・視聴覚室

「まほうつかいのマリー」 「タンタカやまのおんがくたい」

《定員》90名

*人形劇と手遊びなど

《申込》11月5日(土)から、直接カウンター・電話・FAXで伊勢図書館へ。

11/21月

上映会

《場所》2階・視聴覚室

★午前10時30分～ 『くじけないで 朗読DVD』

★午後1時30分～ 『スーパ・オペラ』

※申し込みは不要です。お気軽にご参加下さい。

図書館施設利用者 各種サークル作品展

《日時》11月12日(土)～11月21日(月)

《場所》2階・展示ホール

《内容》おりがみ、絵手紙など

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日第2金曜日・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館・休館日カレンダー

11月 12月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

◎12/28(水)～1/4(水)は年末年始のため休館です。

施設抽選会(1月～3月分)

とき: 11月4日(金)

場所: 2階

午前10時～

視聴覚室

<受付は午前9時50分～>

毎月の行事のご案内



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

11月5日/おにいさん、おねえさん によるおはなし会
11月12・26日
/おはなしフーさん によるおはなし会

「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》11月24日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手遊びなどをします!

「上映会」<上映時間 100分>

《日時》11月13日(日) 午後1時30分～

《場所》2階・視聴覚室

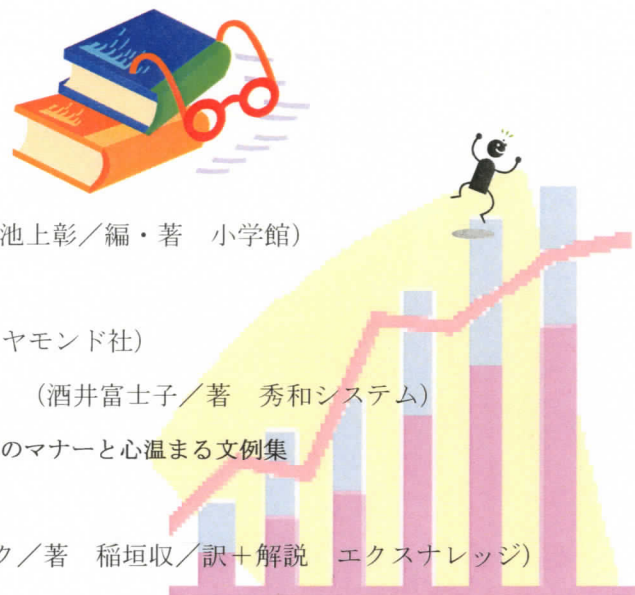
『トムとジェリー アカデミー・コレクション』
<日本語吹替 アニメ>

えほんのよみかせや、かみしばい など☆

本のごあんない

〔一般書〕 「スキルアップ」

今の私・将来の私には何が必要？
スキルアップに役立つ本をご紹介します。



- ◎ やりたい仕事がある！好きな仕事向いている仕事768職 (池上彰／編・著 小学館)
- ◎ 資格図鑑！2012 厳選！まる見えガイダンス (オバタカズユキ／著 しりあがり寿、加藤裕将／絵 ダイヤモンド社)
- ◎ 職業訓練校3倍まる得スキルアップ術 日本一の仕事の予備校 (酒井富士子／著 秀和システム)
- ◎ 気のきいた手紙が書ける本 「おつき合い上手」になれる書き方のマナーと心温まる文例集 (中川路亜紀／著 ダイヤモンド社)
- ◎ マンガで覚える社会人の英会話 (ベティ・カークパトリック／著 稲垣収／訳+解説 エクスナレッジ)

〔児童書〕 いせ 伊勢って、ええなあ～

神話から伊勢うどんまで、みんなが知っているようで知らない伊勢のおはなしを紹介します。
遣宮まであと2年。

きみは伊勢っ子になれるかな？



- ★ 日本の神話 第2巻 あまのいわと (赤羽末吉／絵 舟崎克彦／文 あかね書房)
- ★ 琴堂 この人を知ろう 尾崎行雄ものがたり (中田勲見／著 NPO法人琴堂)
- ★ 郷土料理のおいしいレシピ 東日本編 たべよう！つくろう！47都道府県 (教育画劇)
- ★ ふるさとの届けもの 伝えたい三重のおはなし 中勢地域 (三重県生活部みえ歴史街道推進担当／著 株式会社アイフレン)
- ★ 日本の神話 10 ヤマトタケル (西野綾子／文 阿部肇／絵 ひくまの出版)

〔ヤングアダルト〕 お仕事いろいろ。働くことの厳しさや楽しさを学ぼう！

技と情熱を持って仕事をしている16人の女性たちの話を綴ったインタビュー集をはじめ、
パパの仕事調べに行くと悪役レスラーだったという絵本など、「働く人」をテーマにした本をご紹介します。

- 【一般書】
- ふむふむ おしえて、お仕事！ (三浦しをん／〔著〕 新潮社)
- 東海仕事人列伝 食べたい！買いたい！！東海が誇る名品がズラリ (びあ株式会社中部支局)
- カイシャデイズ (山本幸久／著 文芸春秋)
- 【児童書】
- パパのしごとはわるものです (板橋雅弘／作 吉田尚令／絵 岩崎書店)
- しごとば (鈴木のりたけ／作 ブロンズ新社)



【ヤングアダルト】とは
中・高生の読者に対して使われている言葉です。こちらでは、十代の若い世代におすすめの本を紹介しています。

★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

東日本大震災…、千年に一度の大震災という。
今年ほど自然に翻弄された年はない…。



～天変地異～

常世の国 伊勢にも、天変地異があったー

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。
鴨長明の『方丈記』の冒頭の一節はあまりにも有名である。
その『方丈記』の中で、平安時代の終わりにさしかかる元暦2年(1185年)、都を襲った大地震の悲惨な様子を詳細に述べている。

おびたしく大地震ふること待りき。そのさま世の常ならず、山は崩れて河を埋み、海は傾きて陸地をひたせり。
土裂けて水涌き出で、巖割れて谷にまるび入る。…地の動き、家の破る音、雷に異ならず。家の内にをれば忽
にひしげなんとす。走り出づれば、地割れ裂く。羽なければ、空をも飛ぶべからず。竜ならばや雲にも乗らむ。

『日本の古典をよむ14(方丈記)』より

常世の国、伊勢の歴史にも幾許かの震災の爪痕が刻まれている。
古来「重浪帰する国」、「百船度会国」と謳われた伊勢の地。大湊は古くから、神宮御厨・御菌からの貢ものが運ばれる外港として、さらに商業海運の中心として繁栄してきた。湊とは、「水の門」という意味で、河海の水の出入口を意味する。宮川河口に形成された三角州に発達した大湊は絶えず津波の恐怖に苛まれてきた。
室町時代明応7年(1498年)の大地震による大津波は、大湊の西部大塩屋村に全滅に近い打撃を与えたという。

明應七年八月廿五日大地震あり、海嘯を起して海邊の被害夥しく、大湊領鹽屋村の如き百八十餘戸殆ど全滅して生き残ったもの僅に四五人であつたといふ。〔神宮大綱〕 『宇治山田市史』より

古くは神宮へ御塩を献上していた大塩屋村の塩田は壊滅、塩の神を祭る志宝屋神社の社殿も流失した。地元では、塩屋明神と親しまれている志宝屋神社の祭神は、塩土老翁、宮城県の塩竈六社明神の一座の御霊を祭ったと伝えられる。寛永21年(1644)に再興され、現在、海辺にのぞむ鎮守の森「鶴の森」にひっそりと鎮座する。

宝永4年(1707)10月4日、大地震、大津波が襲い、大塩屋村は再び荒地となる。この時一筋の流れに過ぎなかった小川が、洪水の度に川幅が広くなり、現在、西の川とよばれている。

さらに享保十三年(1728)の暴風雨、高波、安政元年(1854)の大地震により、膨大な被害を被る。時の山田奉行二十代保科淡路守、四十代秋山安房守は、波除堤の修復等に尽力し、大湊の人々は、両奉行の偉業に深く感謝し、今日までその遺徳は伝えられている。

日保見山八幡宮の丘を越えたといわれた大津波…。今、その地に弥栄の松が、長い年月を経て堂々と枝を広げている。

「文明が進めば進むほど、災害はその劇烈の度を増す。」 寺田寅彦

太古の時代から、人間が災害に遭っては忘却するという事実は変わっていない。一方、四季折々の美に彩られるわが国の自然は少しも魅力を失せていない。歴史は静かにそれを語りかけている。

秋寂霜降…
伊勢の海よりはるか彼方、東北の海を偲ぶ…。

- ➡ 濱七郷 第三号 (勢田川惣印水門会／編 勢田川惣印水門会 L243/ハ/3)
- ➡ 伊勢大湊の今昔 (大西民一／著 大西民一 L243/オ)